



2022年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月15日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社
 コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 川合 大無
 (氏名) 金木 宏之
 TEL 03-5847-8556

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	2,295	2.4	333	228.1	335	207.8	213	235.8
2021年9月期第3四半期	2,352	40.0	101	72.9	108	82.2	63	61.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	159.23	158.81
2021年9月期第3四半期	47.49	47.32

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	2,020	1,120	55.0
2021年9月期	1,848	900	48.5

(参考)自己資本 2022年9月期第3四半期 1,111百万円 2021年9月期 897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		0.00		0.00	0.00
2022年9月期		0.00			
2022年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,450	6.4	500	258.8	500	237.7	272	206.5	202.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	1,343,488 株	2021年9月期	1,342,244 株
期末自己株式数	2022年9月期3Q	22 株	2021年9月期	22 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	1,342,382 株	2021年9月期3Q	1,340,243 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1.(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻くインターネット業界、インターネット広告市場においては、スマートフォンを中心としたモバイルインターネットの普及とSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の拡大により、引き続き順調な成長が見込まれております。当第3四半期累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、いまだ収束時期が不明な状況の中、ワクチン接種率の増加とともに感染リスクを低減させつつ社会経済活動が継続されている状況であります。また、ロシアによるウクライナ侵攻に対する各国政府の経済制裁の実行による影響等も懸念され、原材料・燃料価格の高騰や円安等、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、2022年9月期を「成長投資の結実フェーズ」として投資効果を最大限実現させる期間と位置づけ、株主の皆様のご期待に応えるべく企業価値の向上に取り組んでおります。第3四半期は、新たなサービス開発に取り組むとともに、既存サービスの加盟企業数を着実に増加させてまいりました。外壁塗装の比較サイト『ぬりマッチ』においては累計加盟企業が400社を、不動産一括査定特化サイト『不動産売却の窓口』においては累計加盟企業が1,100社を突破いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益2,295,048千円（前年同期比2.4%減）、営業利益333,931千円（前年同期比228.1%増）、経常利益335,269千円（前年同期比207.8%増）、四半期純利益213,744千円（前年同期比235.8%増）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は2,020,241千円となり、前事業年度末と比較して171,409千円増加いたしました。これは主に、その他流動資産が11,682千円減少した一方で、現金及び預金が148,561千円、投資その他の資産が31,160千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は900,171千円となり、前事業年度末と比較して47,695千円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定分を含む長期借入金が116,289千円、その他流動負債が47,792千円減少した一方で、未払金が43,531千円、未払法人税等が38,199千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,120,070千円となり、前事業年度末と比較して219,105千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を213,744千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2021年11月15日の「2021年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,128,341	1,276,902
売掛金	514,557	515,432
その他	107,165	95,482
貸倒引当金	△6,724	△7,251
流動資産合計	1,743,339	1,880,566
固定資産		
有形固定資産	9,382	8,160
無形固定資産	6,018	10,263
投資その他の資産		
その他	91,592	122,752
貸倒引当金	△1,501	△1,501
投資その他の資産合計	90,091	121,251
固定資産合計	105,492	139,675
資産合計	1,848,832	2,020,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,127	5,606
1年内返済予定の長期借入金	155,052	153,344
未払金	298,901	342,433
未払法人税等	60,732	98,931
賞与引当金	—	34,176
その他	131,108	83,315
流動負債合計	650,921	717,806
固定負債		
長期借入金	296,946	182,365
固定負債合計	296,946	182,365
負債合計	947,867	900,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	193,829	194,260
資本剰余金	162,829	163,260
利益剰余金	540,788	754,532
自己株式	△103	△103
株主資本合計	897,344	1,111,950
新株予約権	3,620	8,120
純資産合計	900,964	1,120,070
負債純資産合計	1,848,832	2,020,241

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
営業収益	2,352,667	2,295,048
営業費用	2,250,886	1,961,117
営業利益	101,780	333,931
営業外収益		
受取利息	730	177
未払金精算益	3,502	—
雑収入	2,558	2,042
その他	1,793	137
営業外収益合計	8,584	2,357
営業外費用		
支払利息	1,426	1,019
営業外費用合計	1,426	1,019
経常利益	108,938	335,269
特別損失		
固定資産除却損	—	109
特別損失合計	—	109
税引前四半期純利益	108,938	335,160
法人税等	45,286	121,416
四半期純利益	63,651	213,744

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりました、顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から取引先等に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更し、従来は営業費用に計上しておりました広告原価を、営業収益から控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第3四半期累計期間の営業収益及び営業費用は498,150千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これにより四半期財務諸表に与える影響はありません。